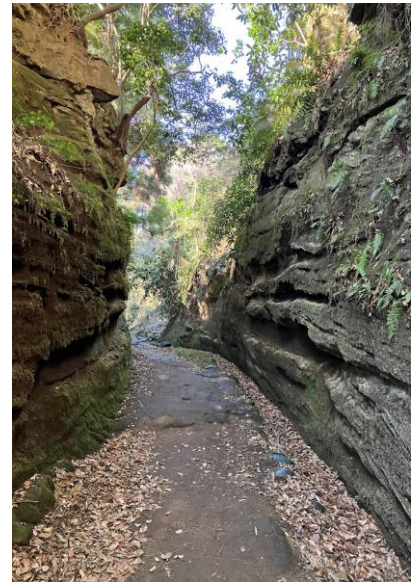


侍従川讃歌の名所解説

2025年10月6日 廣瀬隆夫

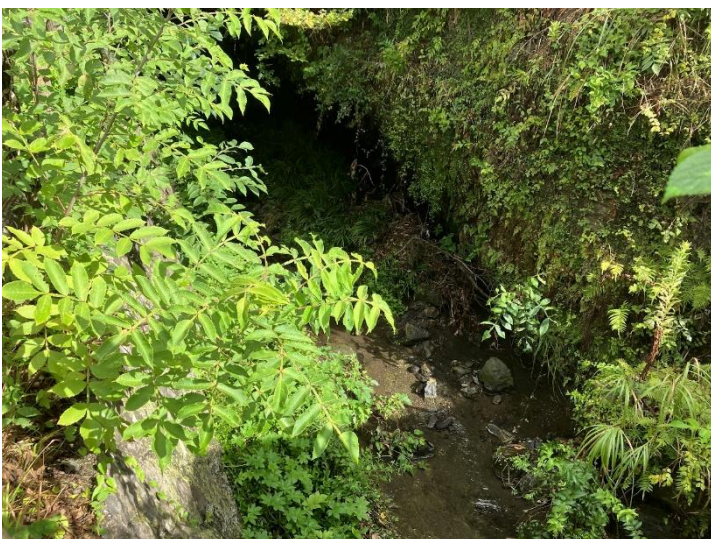
① 朝夷奈切通（あさいなきりどおし）

六浦と鎌倉をつなぐ朝夷奈切通は、ここを通過して鎌倉に塩が運ばれたと言われていました。軍事的には鎌倉幕府の東側の守備の拠点であったと考えられています。坂東武者の和田義盛の三男で豪傑だった朝夷奈三郎義秀が一夜で切り開いたという伝説があります。侍従川の源流があります。



② 侍従川の源流 若水川

侍従川の源流に近い小さな川を若水川と呼んでいました。初夏になると、近くではホタルを観ることが出来ます。



② 鼻欠地蔵（はなかけじぞう）

大道中学校のそばにある鼻かけ地蔵は自然の岩壁に彫った摩崖仏として大変古く珍しいものです。今は、風化して顔が分かりませんが、武蔵（金沢）と相模（鎌倉）の国境の石仏で土地争いを仲裁するために彫られたと言われています。



④ 上総介塔（上総介広常（かずさのすけひろつね）の墓）

源頼朝が鎌倉入りする時に加勢した「鎌倉殿の 13 人」の武将の一人です。1183（寿永 2）年に謀反の疑いをかけられて、双六の最中に、梶原景時（かげとき）に暗殺されました。この時、切通しを越えた先の「太刀洗水」で、太刀の血を洗ったとされています。朝夷奈切通に、上総介広常の館があったと言われています。



⑤ 大堰（おおぜき）

侍従川をせき止めて水をためた大堰と言うところがありました。深さは2メートル以上あり、泳ぐことが出来ました、ハヤやウグイがたくさん棲んでいました。田んぼの水が不足するとこの堰を空けて水を供給していました。



⑥ 大水の谷戸（おおみずのやと）

現在のスーパー「横浜屋」の奥が大水の谷戸です。谷戸の奥には大池と呼ばれていた大きな自然の池がありました。大雨が降ると大量の水が出たということです。今は谷戸が埋められて家が建っています。



⑦ 宝樹院と小泉家代々の墓

宝樹院は古くは三艘の谷戸にありましたが、寺が消失したため、1650（慶安 3）年ここに移りました。称名寺の末寺であった大道山 常福寺の本尊であった阿弥陀三尊像が伝わっています。小泉純一郎元首相の菩提寺で、小泉家代々の墓があります。



⑧ 小泉又次郎誕生石碑

小泉純一郎元首相の祖父の小泉又次郎さんは大道のご出身です。屋号は由兵衛（よしべえ）さん。小学校教員、新聞記者、横須賀市会議員・議長を経て 1929（昭和 4）年に浜口内閣で逓信大臣、1934（昭和 9）年から横須賀市長を務めました。この石碑は、純一郎さんの父で防衛庁長官だった小泉純也さんの建立です。



⑨ 明堂橋（みょうどうばし）

明堂というお堂があったと言われています。みょうどうという屋号の家が今でも残っています。この近くに大きな桜の木が侍従川を覆うように生えていて、春になるときれいな花を咲かせます。



⑩ 光傳寺（並木天満宮）

光傳寺は、1573年（天正元年）頃に長野六右衛門が開山した浄土宗のお寺です。本尊阿弥陀如来立像には「首は春日、胴体は運慶」という伝説が残っています。階段を登ると並木天満宮という神社があり、金沢八景が一望できました。能見堂や金龍院に次ぐ金沢八景の見晴らし場所として賑わいました。



⑪ 諏訪の橋と諏訪神社

諏訪の橋を渡ってまっすぐに進むと諏訪神社があります。古くから六浦の鎮守として崇敬されてきました。江戸期には周辺の村々の産土神として人々の生活を見守り、現在も地域行事や初詣で親しまれています。



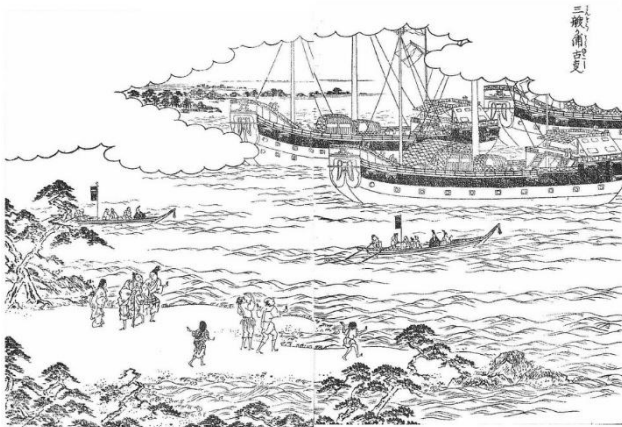
⑫ 高橋（たかばし）

左の写真は、侍従橋から見た高橋です。侍従橋は、照手姫が盗賊の横山大膳の家来につかまって投げ込まれた油堤（あぶらつづみ）という場所とされています。高橋は、船が通れるくらい高い橋だったそうです。関東大震災で隆起する前は、水深があり船が行き来していたようです。



⑬ 三艘（さんぞう）

北条実時の時代（1260 年頃）に、中国との交易のために三艘の唐船が着岸した絵が残っています。それが三艘という地名の由来と言われています。また、この唐船で象が運ばれたことがあり「象ヶ谷（ぞうがやと）」という地名が残っています。



⑭ 高谷（たかや）

高谷には湿地帯が続いていて葦原が広がっていました。高台には、村の鎮守として祀られている白山神社があります。



⑮ 内川橋と平潟湾

侍従川は、朝比奈の切通しを源流として平潟湾に注ぐ、全長わずか2キロほどの小さな川です。短い流れの中に、山のせせらぎから海の潮風まで、自然の移ろいが凝縮されています。歴史と伝説を抱きながら、今も静かに金沢の地を流れています。



⑯ 照手姫伝説（てるてひめでんせつ）

侍従川には、六百年前の照手姫の物語が伝わっています。照手姫が身代わり観音に救われた侍従川、命を助けられた金沢八景の姫小島、そして観音様を祀る千光寺。信仰と小栗判官との愛が重なり合う伝説の舞台として歴史に残っています。

